



2018インドネシア・アジアパラ競技大会 出場資格ガイド

バージョン1：2018年2月2日発行

目次

はじめに	4
出場資格の取得方法	5
インドネシア 2018 アジアパラ競技大会 競技プログラム概要	6
選手とメダル対象種目数	6
出場資格に関するAPC規定	7
APC会員	7
APC選手国籍コードの順守	7
最小年齢要件	7
出場資格コードの理解と同意	7
NPC選考基準	8
クラス分け資格規定（競技クラスステイタス）	8
種目成立基準	9
バイパルタイト招待枠	9
スケジュールと申請手順	9
未使用の出場資格枠の再分配	10
ユニバーサリティ・ワイルドカード	10
主な期日	11
ARCHERY	12
PARA ATHLETICS	14
BADMINTON	26
BOCCIA	31
CHESS - TBD	36
CYCLING - TBD	37
GOALBALL	38
JUDO	41
LAWN BOWL - TBD	44
PARA POWERLIFTING	45
SHOOTING PARA SPORT	49
パラ水泳	53
TENPIN BOWLING	66
VOLLEYBALL (SITTING)	70

WHEELCHAIR BASKETBALL	73
WHEELCHAIR FENCING.....	76
WHEELCHAIR TENNIS.....	81

はじめに

本ガイドは、インドネシア2018アジアパラ競技大会で行われる大会プログラム各18競技において選手・チームの出場資格の取得方法について詳述するものです。各国パラリンピック委員会（NPC）、国内競技連盟、競技管理者、コーチ、競技者に対し、アジア地域で最も重要なパラスポーツ大会への出場条件を記載しています。

本ガイドの記載事項

- インドネシア2018競技プログラム概要
- 出場資格に関するアジアパラリンピック委員会（APC）規定
- 競技別（アルファベット順）の具体的な出場資格基準
- 本書に記述されている専門用語の用語集

各競技別の出場資格基準の構成

本ガイドの各競技別セクションは、それぞれ同じ形式で記載されています。これにより情報を見つけやすく、競技間の情報も比較しやすくなっています。各競技別の出場資格の基本構成は以下の通りです。

- 種目
- 選手枠数
- 出場枠の割当
- NPCごとの最大割当枠
- 選手出場資格
- NPCごとの最大エントリー数
- 出場資格システム（割り当ての進行順）
- タイムスケジュール
- 割り当てられた出場枠の確定手順
- 未使用の出場枠の再割当
- 国際競技連盟（IF）の連絡先

出場資格の取得方法

各競技の特性や慣習に応じ、国際競技連盟（IF）が定めるさまざまな出場資格の取得方法があります。各競技内での出場資格の取得方法の組み合わせは、以下の方針を尊重するものとします。

- アジアの実力のある選手が最高レベルで競技する機会を得ることを保証する。
- 非差別に関する基本的な道徳理念を支持すること。
- 地域内で出場資格を取得する機会が確実にあること（可能な限り）、地域の出場資格枠の分配が、優れたパフォーマンスおよび準地域における競技の普及にきちんと基づいて行われていること。

出場資格を得られる方法は以下の通りです。

- 世界選手権の順位
- 地域／ゾーン別選手権または地域大会の順位
- その他のIF公認の競技大会または予選大会の順位
- 世界ランキング／地域ランキングの順位
- アジア出場資格ランキングの順位
- 出場枠割当式（Quota Allocation Formula）使用の有無にかかわらず最低の出場資格基準（MQS）を満たす者
- 開催国枠
- バイパルタイト招待枠（Bipartite Invitations）

質問と最新情報

各競技別の出場資格に関する質問は、それぞれのIFにお問い合わせください。本書は随時更新されます。本ガイドの最新版（表紙の日付を確認）は、下記のアジアパラリンピック委員会のウェブサイトでご確認ください。<http://www.asianparalympic.org/>

公用語

アジアパラリンピック委員会の公用語は英語です。NPCが内部使用目的で本書を翻訳し、内容に齟齬が生じた場合、英語版が優先されるものとします。

著作権（2018）

不許複製・禁無断転載。本書の内容の一部または全部をアジアパラリンピック委員会の事前の書面による許可なく、いかなるプロセスによっても商業目的で複製または送信することを禁じます。

インドネシア2018アジアパラ競技大会 競技プログラム概要

アジアパラ競技大会は、アジア地域において最高水準の選手の卓越性と多様性を反映する、身体障がい、視覚障がい、知的障がいをもつ選手のための地域総合競技大会です。アジアパラ競技大会の競技プログラムの目標は、観客を引き込み、楽しませながら、選手が優れたパフォーマンスを発揮できるエキサイティングで刺激的な大会を提供することです。

選手とメダル対象種目数

競技	メダル対象種目				選手			
	男子	女子	混合	合計	男子	女子	混合	合計
アーチェリー	3	3	3	9	70	40		110
パラ陸上競技	98	68	1	167	500	350		850
バドミントン	10	7	2	19	130	60		190
ボッチャ			7	7			132	132
チェス								
自転車								
ゴールボール	1	1		2	48	36		84
柔道	7	6		13	84	84		168
ローンボウリング								
パラパワーリフティング	10	10		20	110	80	20	210
パラ射撃	3	3	6	12	95	45		140
パラ水泳	69	62	4	135	175	95		270
卓球	17	12		29	152	86		238
ボウリング	7		9	16	105	45		150
シッティングバレー	1	1		2	96	72		168
車いすバスケットボール	1	1		2	120	72		192
車いすフェンシング	9	9		18	53	53		106
車いすテニス	2	2	2	6	24	16	12	52
合計	231	175	34	457	1762	1134	164	3060

上図は、暫定的な数字であり、最終エントリー後に変更される場合があります。

出場資格に関するAPC規定

各国際競技連盟の選手出場資格基準に加えて、APCはアジアパラ競技大会の出場選手全員に当てはまる一般条件を定めています。これらの規定は「APCハンドブック（APC Handbook）」から抜粋されたものです。これは、APCとその会員の基本的権利と義務が認識され、保護されることを保証するものです。出場資格に関するAPC規定は、以下の通りです。

- APC会員
APC選手国籍コードの順守
- 最少年齢要件
- APC出場資格コードの理解と同意
- NPC選考基準
- クラス分け規則の順守

APC会員

2018年10月6日までAPCの有効な会員であるNPCのみが、出場資格を満たす選手をインドネシア2018アジアパラ競技大会にエントリーすることができます。NPCは、アジアパラ競技大会への出場資格取得期間中およびエントリーの締め切り時点で、選手が各競技の国際競技連盟（IPCを含む）の有効な会員であることを確認しておかなければなりません。

APC選手国籍コードの順守

アジアパラ競技大会においていかなる選手も、エントリーを行うNPCの国／地域の国籍でなければならず、APC Handbookに記載される国籍コードの規定に従わなければなりません。

最少年齢要件

APCは基本的に、アジアパラ競技大会に出場する選手の年齢制限を設けていません。ただし、NPCは、関連する国際競技連盟により競技別の選手出場資格基準として年齢制限が定められている場合があることに注意してください。アジアパラ競技大会は、アジア地域の障がいを持つ若手選手を歓迎しますが、NPCは各自の判断で高いレベルの競技会に十分備えができている選手のみを大会へ派遣するよう求められます。

APC出場資格コードの理解と同意

アジアパラ競技大会の出場資格を得るには、すべての選手は、APC出場資格コードフォームに記載される規則・規定に署名し、それを順守しなければなりません。APC出場資格コードフォームはNPC登録手順の一環です。

NPC選考基準

APCは、アジアパラ競技大会に出場する選手やチームの出場資格を決定するための各国内の選考基準を確立するNPCの権利を認識し、尊重します。かかる選考基準は、各IFの条項により設定された基準ならびに本ガイドに記載されている確定期日や管理上の期日に従わなければなりません。すべての選手とチームは、平等にそれぞれのNPC選考基準の対象になります。

クラス分け資格規定（競技クラスステイタス）

各競技別のクラス分け資格要件を満たす適格の選手のみが、インドネシア2018アジアパラ競技大会にエントリーできます。NPCは責任をもって、各選手が本ガイドに記載される競技の出場資格要件に則した競技クラスステイタスを保有していることを確認してください。

以下は、インドネシア2018アジアパラ競技大会で特定の競技に出場するために必要な競技クラスステイタスです。

- N = New（新規）
- R = Review（再評価）
- R+ = Review with a Fixed Review Date after 2018（2018年以降の固定期日付き再評価）
- C = Confirmed（認定済み）

競技クラスステイタス「New」または「Review」が付与された選手は、大会現地で国際クラス分けを受けなければなりません。選手は、指定された日時 of クラス分けに出席しなければなりません。NPCは、「New」または「Review」ステイタスの選手に関連するすべてのメディカル関連書類を、各クラス分け規則に従ってそれぞれのIFに提出する必要があります。クラス分けに関する質問はすべて、各IFにお問い合わせください。

種目成立基準

IFが成立基準を満たしていない場合、以下のAPCの成立基準に従うものとします。

- 個人種目： 参加2か国から最低4名の選手が参加していること
- 団体種目： 最低4か国が参加していること

例外として、最終プログラムに実施種目として成立したが、競技当日に成立基準を満たしていない場合は、以下の代替手順がとられます。

- 技術代表 (TD) の判断:
テクニカルデリゲート (技術代表) は、種目を成立させるため元の大会プログラムを修正し、「マイナスイニシャル」を実行する権限を有します。

バイパルタイト招待枠

基本指針が尊重される本来の方法が、標準の出場資格取得方法であるが、APCとIFは、「バイパルタイト委員会招待枠割当て方法」を通じて、特定の競技において対象の出場資格枠を提供することもできます。これらの招待枠は、関連する競技の合計選手枠数に含まれます。招待枠はAPCと各IFの裁量に基づいて認められ、通常は以下の方針に則り割り当てられます。

- 特別な事情により通常の方法で出場資格を得られなかった実力のある選手の出場を保証するため。
- 特別な支援の必要な選手の出場を確保するため。
- メダル種目を成立させるのに必要な選手数を確保するため。
- 男女の代表選手数を調整するため。

スケジュールと申請手順

バイパルタイト招待枠を設ける各競技は、バイパルタイト申請書の提出と受領期間の各スケジュールを定めます。本ガイドの各競技別のセクションを参照してください。

未使用の出場資格枠の再分配

期日までに各競技で割り当てられなかった出場枠、再割り当てされなかった出場枠、または（最終エントリーの期日後に）未使用となった出場枠は、APCとIFの一存でプログラムにあるあらゆる競技へ再分配されます。

ユニバーサリティ・ワイルドカード

アジアパラ競技大会の各回において、APCとIFはユニバーサル方針を守り、有資格のNPCでできるだけ多くの代表選手を確保するための出場枠割り当てメカニズムを導入します。この出場枠割り当て方法は「ユニバーサリティ・ワイルドカード（UWC）システム」と呼ばれ、招待のみで行われます。これらの招待枠は通常、従来の出場資格取得方法でNPCが選手に出場資格を与えられなかった場合に用いられます。UWC枠は、NPCではなく個々の選手に割り当てられます。NPCは、選手のひとりにUWCが与えられた後に、従来の出場資格取得方法で選手が出場資格を得た場合、そのUWCは無効となり、適切に出場資格を得た選手はその出場枠を獲得します。ユニバーサリティ・ワイルドカード枠は、本ガイドに記載される選手出場枠に含まれません。

NPCが別の方法でひとつも選手枠を獲得できなかった場合、男女各最大1枠ずつUWC枠が与えられます。（性別に関係なく）選手出場枠を1つしか得られなかったNPCには、女子選手1枠分が追加で与えられます。

ユニバーサリティ・ワイルドカード枠の対象となるには、選手は以下の条件を満たす必要があります。

- 本ガイドに記載される「出場資格に関するAPC一般規定」を順守すること。
- 本ガイドに記載される各自の競技の選手出場資格基準を満たすこと。UWCが与えられた時点で、ライセンスとクラス分けに関するすべての必要条件を満たしている必要があります。

これらの基準を満たしていない選手は、ユニバーサリティ・ワイルドカードの対象にはなりません。

主な期日

以下の日付や期日は、APCとINAPGOC（大会組織委員会）により定められ、プログラムにあるすべての競技はこれを守らなければなりません。

各IFは、選手やチームがインドネシア2018パラアジア競技大会の出場資格に考慮される結果やランキングを獲得できるそれぞれの出場資格取得期間を定めることができます。資格対象となる結果はすべて、各競技の同期間中に達成されなければなりません。各競技別のこの期間より前に達成された結果やランキングは、インドネシア2018パラアジア競技大会の出場資格に考慮されることはありません。この期間中の競技会への出場は、各競技別の同期間の開始前に達成された結果によって決まります。

TBC（確認中） INAPCOG NPC 人数によるエントリー期日：NPCがインドネシア2018に選手の合計人数を提出する期限。

TBC（確認中） INAPCOG NPC 選手名によるエントリー期日：NPCがインドネシア2018に選手名を提出し競技エントリーを確定する期限。

パラ水泳

メダル対象種目

男子	女子	混合	合計
69	62	4	135
メダル対象種目とMQSの詳細一覧は本章の最後に記載されています。			

選手出場枠

男子	女子	ジェンダーフリー	合計
175	95		270

出場資格枠の割り当て

世界パラ水泳連盟は、必要に応じて人数によるエントリーの後に出場枠の割当て手順を実行する権限を有します。

これは、エントリー期限後に余った分の出場枠を分配するため世界パラ水泳連盟の裁量に基づいて行われます。

選手出場資格

NPCに選考されるためには、選手は以下の条件を満たさなければなりません。

- 2018年シーズン中有効な世界パラ水泳連盟アスリートライセンスを保有していること。
- 世界パラ水泳連盟公認50m競技会において、2017年1月1日から2018年8月20日の対象期間に、それぞれの種目で最低出場資格基準（MQS）を突破していること（タイムは、達成時に選手がライセンス取得済である場合に限り有効とする。もしくは同距離・同ストロークにおける世界／地域大会のスプリットタイムも有効とし、これはランキングにも含まれる）。
- 2017-2018シーズンの有効なアスリートライセンスプログラムポリシーに則ったMQSを突破していること。
- 競技クラスステイタス「New」、「Review(R)」、「Confirmed(C)」にクラス分けされていること。リレー種目にのみ出場する選手（MQS無し）1名をNPCチームに追加できます（この場合、その他の種目への出場は出来ません）この追加に関しては、6月26日までに世界パラ水泳連盟まで連絡してください。もう1名、最終プログラムの別のリレー種目にリレー専用の選手をエントリーさせることができます。

注記：

クラス1-3には、MQSがありません。同クラスのMQSは、公式アジアランキングリスト（対象期間：2016年1月1日～2017年12月31日）の18位と設定されました。選手が18名いない場合、同ランキングの下から2つのタイムの平均がMQSになります。ランキングにいる選手が5名以下の場合、公式世界ランキングリストの20位が（必要に応じて）用いられます。

リレー種目は、MQSタイムがありません。チームは過去の成績がなくてもエントリーできます（その場合「タイム無し」で組み合わせされます）。出場資格取得期間のリレーチームのタイムがある各NPCは、その結果を最終エントリーに登録できます。

バイパルタイト委員会招待枠

世界パラ水泳連盟は、バイパルタイト委員会招待枠を最大30枠割り当てます。出場資格ランキングに5名以下しか選手がいないNPCは、バイパルタイト招待枠を申請できます。

バイパルタイト委員会招待の対象となるためには、選手は、2018年シーズンのIPCアスリートライセンスを保持していなければならず、関係するNPCは、2018年8月20日までに世界パラ水泳連盟宛てに正式な申請をしなければなりません。

バイパルタイト委員会招待枠は、選手個人に割り当てられ、他の選手へ譲渡はできません。

NPCごとの最大エントリー数

NPCは、各メダル対象種目に対し最大3名の選手をエントリーできます。ただし全員MQSを突破していること。単一の競技クラス種目に1つ以上のクラスがまとめられる場合、種目ごとに各NPC最大5名までエントリーできます。ただし、1競技クラスあたりのエントリー数は、MQSを満たしている場合、最大3名までとします。

NPCは、選手がMQSを最低1つ突破していれば、種目数の上限なくエントリーさせることができます。

種目成立基準

各種目は、名前によるエントリー（Entry by Name）で少なくとも3か国のNPCから6名の選手のエントリーがあった場合に成立基準を満たしたと見なされます。S1-2クラスに関しては、名前によるエントリーで2つのNPCから5名の選手のエントリーが必要です。

リレーイベントは、名前によるエントリーで最低4か国のNPCのエントリーがあった場合に成立したと見なされます。

世界パラ水泳連盟は、期日（未定）の最終エントリー期限後に種目成立を再検討するものとします。最終エントリーまでに、種目が上記の成立基準を満たさなかった場合、世界パラ水泳は、必要に応じて、別の種目と統合することができます。そのような統合種目では、ラザポイントシステム（Raza point system）を用いて順位が決定されます。また、世界パラ水泳連盟は、そのような種目の中止もしくはメダル非対象種目（ノンメダル種目）として実施する権限を有します。

期日（未定）後に、取消しによりエントリー数が上述の種目成立基準を下回った場合、その種目はメダル対象種目として実施され、メダルは「マイナスイニシャル」に基づき授与されるものとします。

スケジュール

2017年1月1日	選手がMQSを突破する出場資格取得期間の開始
未定	WPS、APC、INAPGOC宛てにNPCの書面による人数のエントリー締切日
2018年7月23日	世界パラ水泳連盟オンラインエントリー開始
2018年7月23日	バイパルタイト招待申請手続きのオンラインエントリー開始
2018年8月20日	オンラインエントリーシステムで世界パラ水泳連盟へバイパルタイト招待申請の提出期限日
2018年8月20日	選手がMQSを突破する出場資格取得期間の最終日
2018年8月24日	世界パラ水泳連盟からNPC宛てにバイパルタイト委員会招待枠に関する書面による通知
未定	WPS、APC、INAPGOC宛てにNPCの書面による名前エントリー締切日

国際競技連盟

国際パラリンピック委員会（水泳）

Adenauerallee 212-214

D-53113 Bonn

Germany

Telephone: +49 228 2097-192

Fax: +49 228 2097-209

E-mail: info@worldparaswimming.org

テクニカルデリゲート（技術代表）

Susan Prasad sueprasad@outlook.com

大会マネージャー

Arodtonafo Wiratama Hulu wiraswimm@yahoo.co.id

2018インドネシア アジアパラ競技大会の最低出場資格基準 (MQS)

種目	クラス	男子	女子
		MQS	MQS
50m 自由形	S1	No MQS	No MQS
	S2	No MQS	No MQS
	S3	No MQS	No MQS
	S4	1:34.33	01:55.00
	S5	1:24.70	52.78
	S6	48.37	51.76
	S7	50.57	42.25
	S8	39.91	40.30
	S9	36.21	40.33
	S10	36.57	34.96
	S11	37.18	34.45
	S12	29.47	35.86
	S13	30.53	30.04
100m 自由形	S1	No MQS	No MQS
	S2	No MQS	No MQS
	S3	No MQS	No MQS
	S4	02:03.40	04:46.99
	S5	2:20.31	1:57.44
	S6	1:41.10	2:36.63
	S7	2:19.86	01:43.07
	S8	1:31.73	3:16.48
	S9	1:25.43	1:36.99
	S10	1:25.53	2:15.55
	S11	1:28.8	01:59.45
	S12	1:08.02	01:34.83
	S13	1:08.22	01:44.40
200m 自由形	S1	No MQS	No MQS
	S2	No MQS	No MQS
	S3	No MQS	No MQS
	S4	5:49.92	06:24.99
	S5	5:26.24	3:47.12
	S14	2:07.93	3:13.01
400m 自由形	S6	8:36.63	08:47.25

	S7	8:50.26	07:04.24
	S8	7:16.09	8:43.06
	S9	6:24.78	7:02.26
	S10	6:11.93	06:48.62
	S11	06:38.59	07:32.14
	S12	05:53.09	08:06.05
	S13	05:57.94	07:41.85
50m 背泳ぎ			
	S1	No MQS	No MQS
	S2	No MQS	No MQS
	S3	No MQS	No MQS
	S4	2:23.15	02:08.68
	S5	1:11.47	59.49
100m 背泳ぎ			
	S1	No MQS	No MQS
	S2	No MQS	No MQS
	S6	2:17.56	02:27.48
	S7	2:46.87	02:36.68
	S8	1:58.14	4:00.94
	S9	1:44.04	1:49.13
	S10	1:48.76	01:45.49
	S11	01:59.48	1:38.46
	S12	1:23.94	01:45.25
	S13	1:19.49	01:19.11
	S14	1:11.58	1:43.94
50m 平泳ぎ			
	SB1	No MQS	No MQS
	SB2	No MQS	No MQS
	SB3	No MQS	No MQS
100m 平泳ぎ			
	SB4	3:49.49	2:12.43
	SB5	2:58.17	02:45.29
	SB6	3:33.83	02:53.53
	SB7	2:22.11	3:46.74
	SB8	2:03.49	3:17.22
	SB9	2:20.08	2:02.01
	SB11	1:30.93	02:19.90
	SB12	01:21.89	02:02.38
	SB13	1:29.94	01:47.90

	SB14	1:17.02	1:53.1
50m バタフライ	S2	No MQS	No MQS
	S3	No MQS	No MQS
	S4	No MQS	No MQS
	S5	1:01.18	01:37.13
	S6	47.72	00:50.00
	S7	54.33	00:59.14
100m バタフライ	S8	2:11.15	2:01.97
	S9	1:58.27	1:49.36
	S10	2:00.49	1:55.44
	S11	01:41.61	01:47.83
	S12	01:33.23	01:39.90
	S13	1:14.7	01:29.70
	S14	1:04.78	1:43.83
150m 個人メドレー	SM1	No MQS	No MQS
	SM2	No MQS	No MQS
	SM3	No MQS	No MQS
	SM4	05:24.91	05:33.22
200m 個人メドレー	SM5	06:15.87	05:54.39
	SM6	4:52.87	05:41.91
	SM7	4:34.46	04:28.29
	SM8	4:08.69	04:05.97
	SM9	3:30.88	4:02.31
	SM10	3:24.36	3:44.92
	SM11	3:18.85	03:47.67
	SM12	02:51.51	03:25.59
	SM13	03:08.63	03:31.82
	SM14	2:25.31	3:54.76
リレー*			
4x100 自由形	34 points		No MQS
4x100 メドレー	34 points		No MQS
混合 4x100 自由形	S14		No MQS
混合 4x100 自由形	49 points		No MQS
混合 4x50 自由形	20 points		No MQS